

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2022年第45週
(11月7日～11月13日)

- * 2022年11月16日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は月報告(2022年10月)も掲載しています。
- * 今週は病原体検査情報の掲載をお休みします。

令和4年(2022年)11月17日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類）2022年45週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		42週	43週	44週	45週	年累計	45週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	46	38	29	39	1,732	220	12,718
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9)								
三類	コレラ					1		1
	細菌性赤痢					2		14
	腸管出血性大腸菌感染症	9	6		1	326	38	3,059
	腸チフス			1		7		16
	パラチフス					3		8
四類	E型肝炎	1	2	4	1	115	4	373
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					5		61
	エキノコックス症					3		20
	黄熱							
	オウム病					2		10
	オムスク出血熱							
	回帰熱							20
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘					5		6
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}					1		113
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					1		5
つつが虫病		1			4	25	152	
デング熱	2	4	2	3	24	5	89	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		42週	43週	44週	45週	年累計	45週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						6	437
	日本脳炎							5
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		1
	マラリア					6		27
	野兔病							
	ライム病					2		13
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							2
レジオネラ症	2	4	2	2	102	24	1,936	
レプトスピラ症					4		36	
ロッキー山紅斑熱								
2022/11/16集計								

(全数把握対象疾患のコメント:一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 39件 患者 25件(肺結核 19件、その他の結核 4件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 14件、年齢は20代 2件、30代 2件、40代 2件、50代 2件、60代 8件、70代 11件、80代 11件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 30件、不明 9件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者、血清型・毒素型はO26 VT2、年齢は20代、推定感染地及び推定感染経路は不明であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 無症状病原体保有者、年齢は50代、推定感染地及び推定感染経路は不明であった。

デング熱 3件 病型はデング熱 3件、血清型は3型 1件、不明 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、50代 1件、推定感染地はインド 1件、ネパール 1件、ベトナム 1件であった。

レジオネラ症 2件 病型は肺炎型 1件、無症状病原体保有者 1件、年齢は70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 1件であった。

〈五類感染症〉

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触又は針等の鋭利なものによる感染、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 5件 病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、クレブシエラ・アエロゲネス 2件、セラチア・マルセッセンス 1件、肺炎桿菌 1件、年齢は10歳未満 1件、70代 1件、80代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、医療器具関連感染 2件(尿路カテーテル 1件、肝動注カテーテル 1件)、院内感染 1件、その他 1件、90日以内の海外渡航歴無し 5件であった。